

## 2018年度群馬県卓球ベテラン会総会（議事録）

期日：平成30年5月20日（日）15時～17時15分

会場：みなかみ 上牧温泉 辰巳館

出席者：針谷正紀、高見澤隆、都野 實、石田正太郎、金井正巳、村田 隆、佐々木修一  
 岩井孝夫、相崎素子、若林孝範、羽鳥和典、武藤友美、小林公子、高橋茂樹  
 岩崎桂治、青山博幸、飯塚さち子、飯塚まさ江、井上純市、岩井大介、大澤正道  
 栗原和子、小柳 健、下山とみ枝、須藤順一、高井和義、高野和人、田中 猛  
 長南秀雄、坪井徳一、富澤かづ代、松井賢子、吉田千香 以上33名

### 次第

司会 若林孝範事務局長

1、開会の辞：石田正太郎 副会長

2、会長挨拶 針谷正紀会長

群馬県卓球ベテラン会の初代養田会長、高井・小島会長と52年目となります。

私も当会の運営に携わり40余年を経過し、本会運営に尽力された潮田・関口勇氏2名の方が昨今、逝去されお悔やみに参列いたしました。

元祖日本卓球ベテラン会の運営方式を手本に組織づくりに力を入れて来ました。

この間、各種大会を主催し参加人数も増加して来ましたが、前々年度から減少しています。

近隣、各種大会とのバッティング、大会会場取得難に伴う大会(土曜日)開催日の強化リーグ大会等で参加人員が減少しています。

昨今では、テレビメディアでの日本選手の活躍が放映され、特に女性が活躍しています。

日本卓球協会は、壮年への魅力がなく幼年に力を注いでいる風潮が感じられます。

当会では、参加選手の意見を尊重し運営方式の改善・試合数を多くするように努めています。

本日は、皆様のご意見をお聞かせいただき、可能な限り取り入れていきたい。

3、議長選出：「議長」若林事務局長

4、議事

(1) 2017年度事業報告 村田隆理事長

・2018年度群馬県卓球ベテラン会総会議案書による

大会数11、大会会場：藤岡市民体育館5回、高崎浜川体育館2回、

ヤマト市民体育館前橋2回、ALSOK ぐんまアリーナ2回

参加人数：S 2,147名 D 1,422名 愛の募金2回：39,203円

前年度比：S - 475名 D - 106名 約500名強の減少

(2) 2017年度収支報告 小林公子会計担当理事

・2018年度群馬県卓球ベテラン会総会議案書による

収入：1,521,515円 支出：744,558円 繰越：779,957円

前年比：- 136,581円 -234,743円 +101,162円

(3) 2017年度会計監査報告 高橋茂樹監査(2018年4月7日監査)

・2018年度群馬県卓球ベテラン会総会議案書による

(4) 2018年度事業計画 村田隆理事長

・2018年度群馬県卓球ベテラン会総会議案書による

- ① 大会数は11大会 大会以外の諸行事5回  
大会会場：藤岡市民体育館6回、高崎浜川体育館2回  
ALSOK ぐんまアリーナ3回 計11回
- ② 大会会場の確保に苦慮している。大会日程は日曜日を主体として計画・申請するが各種体育館調整会議で他競技団体とバッティングしている。そのため 結果的に祝日1回、土曜日4回、日曜日6回の開催となった。
- ③ ALSOK ぐんまアリーナは、前年度2回で今年度は3回の取得となりヤマト市民体育館前橋が確保できず0回、高崎浜川体育館は前年同様2回、体育館調整会議の一番遅い藤岡市民体育館に望み繋ぎ6回の取得である。  
近年、体育館の使用取得(日曜日)が特に難しくなっている。
- ④ 大会以外の諸行事では、5月20日総会から2月24日クラブ代表者会議の計5回を計画している。

(5) 2018～2019年度役員について 針谷正紀会長

- ・2018～2019年度群馬県卓球ベテラン会役員一覧(61名)による

副会長：金井正巳(旧 副理事長)

副理事長：佐々木修一(事務局次長)・岩井孝夫(会計検査)・相崎素子(理事)

事務局次長：武藤友美(理事)

会計監査：岩崎桂治(理事)

新任理事：飯塚さち子・居川 豊・市川 英(副会長)・岩井大介・内田和子

小柳 健・下山とみ枝・須藤順一・辻純一郎・富澤かつ代

## 5、討議

### (1) 主催・主管大会をどう魅力的なものにしていくか

#### 1) 体育館確保について

昨今の体育館取得難の解決策があれば、ご教授をお願いしたい。

今年度2回取得できた高崎浜川体育館は、次年度は高崎中央体育館が使用できなくなり次年度の取得は、かなり難しい。

- ① 現在使用している体育館以外にも使用申請する。

富岡市体育館(卓球台30台)・太田市体育館(30台)・高崎アリーナなど

- ② 各体育館への使用申請書に、大会日程を多く記載し申請する。

各体育館に申請する大会使用日を重複して申請し、各体育館の調整会議日順に大会日程が確保できた段階で、次の調整会議体育館で大会日を辞退してゆく。

#### 2) 第6回全国ベテランオープン卓球ぐんま大会について

大会参加者は、昨年度まで徐々にだが増加している。

12月1・2日は、高崎アリーナで日本リーグ(JTTL ファイナル4)が開催され群馬県卓球協会から大会補助のボランティア要請等、当会大会参加者の減少が予測される。

ベテラン会役員は、ベテラン会主催大会の参加に、ご協力をお願いする。

- ① 弁当は、大会日ごとに同一種類とする、鳥めしの人気が高い。

- ② 大会準備は、例年の通り各大会後に準備会議を設ける。

### 3) 5回の強化リーグ大会について

昨今は参加者数が減少している、前年度平均参加者数 230 名であった。

原因は、近隣での同種大会・開催日が土曜日で若年層の参加が減少している。

また、今年度2回の大会では女子50歳未満の参加者が2・3名である。

強化リーグの組合せは、前回大会の結果順位を基礎とし前回欠席の選手を年度毎のランキング表(2016/2017年度)を参考にして、組合せ案を作成している。

#### ① 強化リーグ大会の改善策として(強化リーグのマンネリ化解消)

- ・5回大会を4大会にして、1回を団体戦・ペアマッチ隔年開催を解消する。  
団体戦はドリームチームOK、男女混合等で自由化を取り入れる。
- ・強化リーグ大会のみ参加者もいる、現状の通りでお願いしたい。
- ・大会種目をダブルス男子・女子・混合を入れ、強化リーグダブルス大会とする。

#### ② 参加者数の減少解消策

- ・参加資格30歳以上を25歳に変更しては  
会則にある30歳以上は、改正できない。

#### ③ 強化リーグ組合せ原則の改正(7名リーグ:1.2位が上がる、6.7が下がる)

- ・現在7名リーグ選手入替えを上下3名としては(1.2.3位が上へ5.6.7が下へ移動)
- ・原則論を撤廃して、参加者の競技力順でブロック分け組合せを行う。
- ・強化リーグ大会の申込書に参加者希望枠を設け、競技力等を記載していただく。

### 4) 強化リーグ大会以外の大会について

#### ①参加者数の多少に関係せず、3位まで表彰(賞品含め)して欲しい?

次回大会より、3位までの表彰を行う。

### (2) その他

#### ① チャリティ大会、5月マスターズ大会など募金額を報告してほしい

5月マスターズ大会の募金金額は、大会結果に記載してネットで報告した。

#### ② 11月開催の秋季理事会、藤岡市総合学習センターの場所が分かりづらいので会場変更をお願いしたい。

藤岡市民体育館への変更は可能であるが、体育館は駐車場がなく不便である。

### 6、日本卓球ルールについて 若林事務局長(審判長)

卓球ルールは、基本ルールと競技ルールで構成されている。

硬式の部では、大きな改正点なし ※説明時間なしのため、前年度解説を記載する。

#### (1) リーグ戦の記録

##### ①リーグ戦の記録は、勝敗でなく得点で計算する。

- ・試合得点は勝者2点、敗者1点で計算する。
- ・棄権勝ちの場合はWを付し2点、棄権負けはLを付して0点とする。
- ・2者間が同率の場合は、2者間の対戦で勝者が上位
- ・3名以上が同率の場合は、3者間の対戦結果を抜き出し、試合得点を比較する。
- ・勝率が同じ場合は、本部へ対戦結果を持参してください再確認をいたします。

## ②日本卓球ルール2017（平成29年）

平成29年1月1日に一部改正された。

## ・サービス

1.6.1 手のひらを「平らにし」が、手のひらを「開き」に改正

## ・アドバイス

2.5.1.3 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。

※競技に遅延をきたさなければアドバイスをすることは違反ではありません。

## (2) ラージボール

競技方法の3変更（平成30年4月1日より適用）

両競技者または両組のポイント・スコアが10：10に達した時は、以降2ポイントリードした競技者または組を勝ちとする。~~ただし、両競技者または両組のポイント・スコアが12：12になった場合には、先に13ポイントになった競技者または組を勝ちとする。~~

○アンダーライン部分が削除されました。（平成29年12月16日理事会承認）

## 7、閉会の辞 都野 實 副会長